

## 〈天使大学での職域接種の状況〉⇒「大学拠点接種」について

### はじめに

無事に2回目も終了し、現在、総務課で登録作業を行っています。  
接種予定数は1000人でしたが、最終の接種者数は公表されていないため不明です。ただ、かなり高い接種率だったかと思います。  
(キャンセル者が生じることを予測して、予備日を設定しました)

### 1. 具体的な対象

接種者は希望する学生、教職員とその家族(同居者)、出入り業者、近郊の大学等です。

### 2. 業務

ワクチン接種の際は、看護教員の他、事務局はもちろん、他学科の教員にも業務を担ってもらいました。

業務手当等が支給されるか否かは現段階では定かではありません。

・本学での職域接種にかかわらず、ワクチンによる副反応が生じた場合は「防疫休暇」の取得が認められています。  
本来、臨時職員の防疫休暇は「無給」となっていますが、今回は「有給」となりました。これは過半数代表者からの要望ではなく、理事長の判断によるものです。

### 3. 経費について

国が負担する費用は原則、2070円/人のようです。時間外等はこれにプラスされます。(↑厚労省HPより)

医師は天使病院に派遣依頼をしましたので、金額は不明ですが謝金を支払うものと思います。その他、消耗品等の費用についてはおそらく、国から支給される額で賄えるかと思います。

### 4. 周知方法について

今回の職域接種は総務課がすべて担っていましたので、過半数代表者から発信した事項はありませんでした。

ただ、大学としては教員の協力なしにはできないことでしたので、プロジェクトチームを立ち上げ詳細を決めていきました。

・具体的な周知方法は通常と同じく、メールやポータルサイトで行いました。

## 5. 接種後の反応

特に2回目の接種後の副反応が大きく、多くの職員が防疫休暇の申請をしていたと思います(教員は不明です)。

接種日や副反応が出た場合の休暇について不明瞭な大学がありましたら、組合としても、しっかり要望した方が良いかと思いますが、多分、道内の多くの大学はすでに対応済みかと思います。

(局長レベル、もしくは総務課長間で情報交換をしているようです)